

自昭和十九年十一月一日  
至昭和十九年十一月三十日

# 陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第二機関銃中隊

陣中日誌、例式

第一 陣中日誌ハ左ノ諸部團隊ニ於テ作ルヘキモノトス

大本營、各部(郵便部ヲ除ク)(高等司令部)(編制上各部ニ區分ス

ルモ其各部ノ毎ニ但郵便部ヲ除ク)兵站監部、各部兵站司

令部、聯隊大隊、獨立中隊、砲兵聯隊段列係團獨立

保壘、獨立砲臺、電信隊衛生隊、病院、級列監視隊、兵營、

豫備員、豫備敵、患者輸送部、馬廠

留守司令部及補充諸部隊ニ在テハ右ノ區分ニ應シ留守日誌ヲ

作リ首トシテ第三項乙ニ掲ケル項目ニ準シ記載スヘシ

第二 陣中日誌及留守日誌ハ諸隊團隊動員令受領日ヨリ記載

スヘキモノトス

特別部隊等ニ在テハ先ツ到着セシ將校又ハ同相當官ノカ記載ヲ始

メ後之ヲ主任者ニ移スモノトス

第三 之ヲ終ル日約ハ左ノ二項ニ在リ



ニ送呈セル報告、詳報其他、（一）表、武器、彈藥、消耗表或ハ前哨等ヨリ至レル報告等ハ、凡テ其要領ヲ摘ミ、記事ノ後ニ低書シテ参照ニ備フ（シ）但各原本ハ種類毎ニ一括シテ保存スヘシ。

秘密ニ屬スル特別任務等ニシテ當時之ヲ日誌ニ掲載スル能ハサルモノト雖モ其妨ナキニ至テハ成ルヘク詳細ニ其顛末ヲ記載スルモノトス。

第七 凡シ此日誌ハ、日誌ハ、日時（順序ヲ逐ヒ）ト地名トヲ明記セサル可ラス而シテ諸部團隊（或ハ參謀長）之ヲ點檢シ、毎日記載、結尾ニ捺印或ハ草押スヘシ。

第八 此日誌ハ、諸部團隊復員完結、日ヲ以テ終局ト爲シ直ニ一本ヲ騰寫シ、順序ヲ經テ陸軍省ニ原本ハ其部隊ニ格納スヘシ。陸軍省ハ此日誌中ヨリ所定ノ事項ヲ抄録シテ之ヲ保存シ他ハ皆從參謀本部ニ送リ、之ヲ陸軍文庫ニ格納スヘシ。

第九 此例式ハ必ス陣中日誌、卷首ニ貼付スヘシ。

# 訓示

今次臺灣及南西諸島方面作戰ニ關シ

圖ラスモ優程ナル勅語ヲ賜ハリ洵ニ恐懼

感激、至リニ堪ヘス

睿旨ヲ奉體シ、一竟、聖戰完遂ニ邁進

セシコトヲ期ス。

現下戦局ハ日ニ苛烈ヲ加ヘ決戦、機愈々  
急迫セリ將兵一同益々志氣ヲ昂揚シ

臣利吉

形而上下ニ亘リ速ニ戰備ヲ充實完  
 整シ協心戮力各々其ノ任務ヲ貫徹シ  
 以テ  
 御信倚ニ副ヒ奉ランコトヲ期スヘシ。

昭和十九年十月二十二日

第十方面軍司令官 安藤利吉

土直日  
 水曜日  
 日曜日  
 勤務  
 命令

一〇六〇〇 起床 (中隊) 者分間	二〇七〇〇 一八〇〇 陣地構築作業	三一九三〇 日夕集中 (中隊) 者分間	四 才起 陣地掃除 少尉 仁村 謝名	五 一 進着下官 陸軍隊長 山田 三太郎 令 上等兵 高木 唯光	頭書ノ勤務ニ服スヘシ 陸軍一等兵 前田 幸平	三 尻者者 頭書ノ通リ服務スヘシ 陸軍上等兵 保里 良雄	二 司令 上等兵 野口 修一	頭書ノ勤務ニ服スヘシ	六 築城進捗状況調査別表(句表) 如シ	七 築城進捗状況調査別表(句表) 如シ
-------------------	-------------------	---------------------	--------------------	-------------------------------------	---------------------------	------------------------------------	-------------------	------------	---------------------	---------------------

人員

將校以下五三名

士官

一。八。八。〇。兵器手入 舍内外者擇

木曜日

二。九。〇。〇。作業  
三。一。六。一。一。七。〇。學科 吉川准尉

日課

副官會同指導事項ニ就テ

指當

四。津尾國爾 今野仁村 謝名

勤務

五。歩哨 荒木一等兵 澤女一等兵

命令

頭書、勤務二服ニシ

出張

六。一。七。〇。〇。堀尾一五 日命第九 土號二依山 日號  
教育被教育者トシテ出張  
陸軍中尉 梅木中心次

人員

將校(中野中尉)以下五三名

士官

一。〇。七。五。〇。胡若節 學式

金曜日

二。一。〇。〇。〇。今野中尉(一) 謝名(一) 堀尾(一) 土號(一) 依山(一) 日號(一)

期日

三。八。三。〇。一。八。〇。陣中構築作業

日課

四。細谷 診断

衛生

山本伍長 木村一等兵 大島一等兵  
西田上等兵 山田一等兵

宿營地

以上五名、行トタリ

勤務

五。津尾國爾 今野仁村 謝名

人員

勢大 歩哨、前川一等兵、宮林一等兵

頭書

頭書、勤務ニ服ス

士官

中野中尉以下五三名(中隊長為頭)

上曜日

二。本日早兵奮闘談

日課

三。懸賞場規程配布同時ニ開教

四。八。三。〇。中隊長傳達

指定地 五ヶ所 津波原野 野分 津波原野 津波原野  
勤務 大衛天自命 浦山 矢長

歩哨 山田(警兵)

人員 勇將校以下五三名

十五日 二〇〇〇 作業ニ出發(指揮班各分隊半數)

日曜日 二列車外出許可ナル

日課 各分隊ハ半數迄外出ス

三八〇〇 作業終了

警報 警報 二二三三 警報 警報 警報

命令 命令 五五五 命令 第六五五 北地五隊命令

(一) 着古軍 通報 二依六五五 一六〇五 航空母艦 一ニ戰艦 一

艦艇 約四〇 敵機 勤部隊 マミラ 東五九上甲ニシテ六日

早曉 津波原野 約二〇〇 科附 二達 不距離 ニアリテ

二隊 必要

二 地区 隊ハ一部ヲ以テ 対空 警報 戒ヲ 嚴チ シル 上 是

明拂 曉時ニ於テ 対空 戦ヲ 準備 シル

三 本部 及 第 隊 兩 大隊ハ 対空 警報 戒ヲ 至 嚴チ

ラセシ 上 是ニ 明拂 曉ノ 対空 戦ヲ 準備 ス(一)

四 兩 隊 諸 隊ハ 警報 戒ヲ 湖 岸 各 分 隊 スル 上 是ニ 應

急ニ 態 勢ヲ 以テ 夜ヲ 徹 ス(二)

五 津波原野 國頭 郡 今 歸 仁 村 謝 名

六 歩哨 塚本 一等 兵

人員 將校 以下 五 三 名

一 〇七〇〇 陣地 構築 作業 出 發

警報 戒 警報 戒 命令 中ニ 就 対空 射撃 必要

尤 最 少 限 人 員ヲ 殘 留 ス

廣瀬 東 塚本 草 間 大 木 各 隊 兵

二 〇七五〇 対空 監視

日課

青 六 日

月 日

日 課

長 浦山兵長

柳澤、官林森、各一等兵

三 一〇〇〇 敬成發報解除

四 一〇五〇 對空監視撤収

五 沖繩縣國頭郡今歸作村謝名

六 廣用上等兵

柳澤一等兵

七 一八〇〇 作業終了

將校以下五名

一 〇七〇〇 一八〇〇 陣地構築作業

二 獨混三五作命第六大隊

一 隊人徳才在民ト軍隊ト混居ヲ嚴禁シ十日  
十日迄之ヲ清掃ス

人員

土直百

火直百

日課

三本隊各隊ハ現作業ヲ停止シテ一初ノ矢力ヲ以テ  
陣地附近ニ進ニ三角穴合蓋等ニ集合等ヲ構築

シ十一月十日迄ニ終了ス

四 右要ニ材料各隊各ニ現地ニ於テ蒐集スルヲ以テ

至急一初リ取外ハ逐次交付ス

三 令報

(一) 材料蒐集資料創意工夫ニト

(二) 對敵軍中隊、敵舎ヲ行フニ就テ左記諸言ハ九リ  
一〇〇〇 進ニ大隊本部前ニ集合セテ

正光

川合少尉

中隊命令 田中隊命令

陸軍一等兵 森原方四郎

海軍大尉 高木和之介 進ヲ命ジテ水雷艇ノ入日大隊本



神戶方面之攻撃  
五、一八〇〇作書終了

道管地  
大津鐵道國庫部今届大坂鐵石  
終夜以下五三名

十一日八日  
一〇六〇大詔奉讀式  
二〇七〇作書終了  
一八〇〇作書終了

分遣  
三陸軍上野兵隊編成四部  
道管地  
津島鐵道國庫部今届大坂鐵石

勤勞之中央命令  
週着下三官 佐藤任長  
上野兵隊 廣田上等兵  
衛兵司令 一西上等兵  
歩 有 野村一等兵

人  
員  
一〇七〇作書終了  
二〇〇〇作書終了  
三、三三〇〇外名者二四名

日  
一、五五五五作書終了  
二、一八〇〇作書終了  
三、北地五隊命令  
一、東天來車二封入 戰技教育之實施  
二、事務員 終夜及勤務之支障 丁下三官全員  
三、警備員 終夜及勤務

道管地  
五、沖繩方面國庫部今届大坂鐵石  
勤勞之中央命令  
終夜以下五三名

人員  
一、二〇〇〇三三三三分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了  
二、一三三〇一分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了

人員  
一、二〇〇〇三三三三分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了  
二、一三三〇一分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了

人員  
一、二〇〇〇三三三三分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了  
二、一三三〇一分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了

人員  
一、二〇〇〇三三三三分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了  
二、一三三〇一分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了

人員  
一、二〇〇〇三三三三分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了  
二、一三三〇一分隊陣地作書二六發 一八〇〇終了





考	備	日	課
一、演習兵隊之必要 二、演習之準備 人員：下分隊 實材：一、米網一、鋼竹約一。本（長約五、五、五） 二、鐵條網（長約一、米分）設置準備 三、軍裝三、背囊及除、鐵、鋼、被、鋼、網、携、行、 四、軍帽、白、時、及、專、習、員、八、桶、混、一、作、存、第、二、號、據、 五、軍服、 六、陣置物（鐵條網） 處理法	一、演習兵隊之必要 二、演習之準備 人員：下分隊 實材：一、米網一、鋼竹約一。本（長約五、五、五） 二、鐵條網（長約一、米分）設置準備 三、軍裝三、背囊及除、鐵、鋼、被、鋼、網、携、行、 四、軍帽、白、時、及、專、習、員、八、桶、混、一、作、存、第、二、號、據、 五、軍服、 六、陣置物（鐵條網） 處理法	1. 夜間攻其軍營上者眼 2. 對米戰之法上與令能戰 3. 戰前之基之戰法友省 4. 地上戰之法上與令能戰 5. 地上戰之法上與令能戰 6. 地上戰之法上與令能戰 7. 地上戰之法上與令能戰	六、陣置物（鐵條網） 處理法

兵力	三八四人	每戰協方隊	九六四人
交通壕	八九米	煤藥	四本
偵察	二八九米	信一管	三本
官機	四個	導火索	一八五米
各個掩体壕	一個	十字鐵	一六丁
偽裝	一五五米	月匙	一三七丁
伐採	七三三本	鐵	三二八丁
測量式交通壕	五七米		

總計	玉城			越地			明野			都落
	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計
九二	九五	六七	二八	四七	二二	二五	五〇	三三	一七	一日
一八六	八二	五三	二九	五六	三〇	二六	四八	三二	一六	三日
二〇八	八五	六一	二四	五六	三〇	二六	六七	四一	二六	五日
二〇〇	八六	六〇	二六	五八	三〇	二八	五六	三七	一九	七日
一七八	七八	五三	二五	五〇	二八	二二	五〇	三〇	二〇	九日
九六四	四二六	二九四	一三二	二六七	一四〇	一三七	二七一	一七三	九八	計
										釐

後記 協力隊員出席状況

日	備	目	備
一日	...	...	...
三日	...	...	...
五日	...	...	...
七日	...	...	...
九日	...	...	...
計	...	...	...

2. 米軍 船子 送所 下 不能

5. 軍 糧 物 (鐵 筒 類)



勤勞三衛兵司令 扇澤上等兵

出 哨 以右村一等兵

鐵屑回収 爲用勞兵トシテ

廣瀬一等兵、全澤一等兵、竹島一等兵

人員 資格以下五三名 (他處及他金邊一名)

上自十四 一〇、〇〇〇—一八〇 陸地構築作務

大曜日 指揮班 各分隊の先任者、訓練ヲ以テ之

陸地構築 二號機一五〇命令ヲ九六號

別紙射面ニ基キ上自十六、十七 兩日 地區隊對砲隊

訓練及物資集積状況ヲ巡視ス

井日命令第七五號

別紙ノ通り 且正將校ニ報告ス

七日、二十日、二十七日 吉川中隊 一八日、二十日、二十七日

中野中隊 五日、十日、二十日、川谷中隊

四一三〇〇—一七〇〇

戰技教育 教育者 小野寺中尉

「三發演習」自第一基テ普及教育ヲ實施セル

本隊者、梅木中隊長、中野中尉、川谷少尉

吉川准尉、川島軍曹、山田伍長

吉田伍長、大井伍長

五、沖繩警備團司令部 佐藤伍長

勤勞天 佐哨、荒木一等兵、前田一等兵

八〇〇前日引續キ鐵屑回収トシテ用勞兵トシ

廣瀬一等兵、全澤一等兵、竹島一等兵

人員 資格以下五三名 (他處及他分邊二名)

工用上等 一〇、七〇〇—一八〇 陸地構築作務

水曜日 本隊ヲ以テ當分訓練場協力隊員トシテ

演習地 三浦鐵道國預部司令部 佐藤伍長

勤 勢田 中 哨、 前川 一 等 兵

衛兵司令 末田 上 等 兵

八〇日前に引續き、鐵石田、成田、河野、下、下、

廣瀬、等 兵、 金澤、一 等 兵、 竹島、一 等 兵

中隊司令

週番 下 工 官 山本 任 長

上 等 兵 大 懸 兵 長

人 員 將 校 以 下 五 三 名 (他 隊 多 地 分 遣 一 名)

上 等 十 六 名 一、一〇〇〇—二、三三〇 等 兵 川 合 小 隊

木 鹽 白 肉 皮 等 兵 等 之 就 之

三 環 境 警 理 (午 夜)

三、三三〇 外 名 有 二 四 名

四、故、機、動、艦、隊、ヲ、以、テ、心、ヲ、部、島、方、向、ニ、テ、亦、其、  
其、他、艦、隊、ヲ、以、テ、又、神、島、方、向、ニ、テ、大、々、動、率、備、

中、九、三、〇、如、ク、近、ク、南、四、諸、島、ヲ、大、隊、ヲ、ス、ル、事、ナ、リ

當、分、間、毎、日、〇、六、〇、〇—〇、九、〇、〇、に、列、ル、間、内、警、備、ヲ

入、レ、七、元

三、各、隊、ヲ、十、月、十、日、に、戰、訓、及、日、次、ニ、且、ル、訓、示、に、注、意

、徹、底、ヲ、圖、リ、此、三、次、期、ヲ、カ、ラ、ス、ル、ハ、シ

五、人、員、掩、護、二、雨、シ、テ、ハ、其、他、警、備、監、視、時、及、動、員、等

作、務、ニ、是、等、警、備、ニ、於、テ、ハ、所、要、ノ、掩、護、警、備、ヲ、行、フ、ト、共、ニ

警、備、附、屬、ノ、假、令、ハ、偽、裝、遊、散、ニ、徹、ス、ル、ハ、シ

六、兵、長、彈、藥、糧、秣、其、他、資、材、ハ、努、メ、テ、本、陣、地、内、洞

窟、内、ニ、分、散、格、納、ス、ル、ハ、シ

洞、窟、内、木、等、ヲ、タ、メ、防、濕、上、通、當、ナ、ラ、ザ、ル、モ、ハ、洞、窟、

附、近、ニ、テ、分、散、遊、散、シ、テ、警、備、洞、窟、内、ニ、格、納、シ、タ、シ、

期、ス、ル、ハ、シ

七、若、所、長、ハ、敵、ノ、奇、襲、ニ、對、シ、兵、長、彈、藥、糧、秣、其、他













若管地人員	有名護陸軍病院二入院ヲ命ス 大沖繩縣國頭郡今歸仁村謝名 將校以下五〇名(伊豆味一連二)
青善	一〇六〇一〇九〇 對空監視 東一等兵 一〇六〇〇 中野中尉出發(伊豆島ニ陸行者上之)
水野	一八〇〇 歸隊七人
日課	三〇七〇一八〇 陣地構築作業
道徳	四 沖繩縣國頭郡今歸仁村謝名
勤務命令	五 週番下士官 山田伍長 今 上等兵 幸崎上等兵 頭書ノ勤務ニ服務ス
人員	將校以下五〇(他渡久地一伊豆味一連二)
青善	一〇六〇〇一〇九〇 對空監視
水野	一〇七〇〇一〇八〇 對空監視(肉取)

日課	〇八〇一三〇 夜習(肉取)陣地ニ務リ行ク
錯第	三一三〇 本日ノ外出者(二五名)
度願	四 井日命第八號 井上隊命令 陸軍准尉 吉川定信 左公務ニ関ス 打合會出席ノ爲明子留 名護所旅團司令部ニ出張ヲ命ス
若管地人員	五 沖繩縣國頭郡今歸仁村謝名 將校以下五〇名(他渡久地一伊豆味一連二)
青善	一〇六〇〇一〇九〇 對空監視
金曜日	二 幹部教育ノ夕メ將校全員ニ留ム(各隊各)
日課	三角標高二五八五高地ニ集合ス(各隊各)
教育	若シ病欠等ノ爲參加シ得ル者ハ居出許可ヲ受 久キ

身張

三〇七。土呂川連射出張（名護町隊司令部）

四〇七。中隊長幹野春有ニ出張（二〇隊）

五。獨混二五作命第三五號 夜二〇二地

北地區隊命令

一 地區隊：對戰車内夜訓練成果ヲ迅速ニ向上

セントス

二 各隊ハ對戰車内夜查閱計畫ニ基テ担任

陣地ニ於テ戰術任務遂行ニ必要ナル情况ニ依

存シ夜查閱細部計畫ヲ立案ス（シ）

六 一之。一九。陸軍刑法（廿〇連射）

下士官全員ニ對シ行フ

七 沖繩國頭郡今歸仁村謝名

將校以下五〇名（他渡久地一伊宜吹一六院二）

人員

一 幹部教育中

學科

指導地

人員

指導地

土呂川

二 大隊長 濱田三郎（大正五五）

三 中隊長 野村大八郎

四 中隊長 野村大八郎

五 中隊長 野村大八郎

六 中隊長 野村大八郎

七 中隊長 野村大八郎

八 中隊長 野村大八郎

九 中隊長 野村大八郎

十 中隊長 野村大八郎

十一 中隊長 野村大八郎

十二 中隊長 野村大八郎

十三 中隊長 野村大八郎

十四 中隊長 野村大八郎

十五 中隊長 野村大八郎

十六 中隊長 野村大八郎

十七 中隊長 野村大八郎

十八 中隊長 野村大八郎

十九 中隊長 野村大八郎





標

人員

將校以下五〇名

土曜日

一〇七〇。伐採樹木ノ調査ノ爲各分隊ハ所要

火曜日

ノ人員ヲ以テ現地ニ出發

日課

二〇八〇。一三〇〇。陣地構築(第一次)

三二五〇。一六〇〇。演習(肉攻)川合少尉

四一七〇。一九〇〇。軍官長合同整備演習

打合會(中隊)

命令

三日

五 中隊命令

三日

一 軍官長合同整備演習補助官ヲ命令

依而明后三十日計畫ニ基テ夫々各部ヲ

到リ指導ス(シ)

明野 隊長 佐渡位長 桐山位長

越地 中野中尉 山田位長

吉田位長

蓮天 吉田中尉 大井位長

玉成 川崎中尉 吉田位長 山本位長

獨混一五作命令第七之號

二二五〇。地 渡久地

一 獨混一五作命令第六九號ノ丙號戰備ハ之ヲ

中止ス

八一九〇。一二〇〇。軍政演習

九 沖繩縣團頭司令部仁村少佐

將校以下五〇名

一 四〇〇。非常時召集

〇五〇〇。軍容検査

〇六〇〇。大隊長講評

一 〇六三〇。訓練整戒警報 球一六二文部隊長

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

令演命第一號 十月二十九日 〇六三〇

守備隊命令

一 情報一依大有力ナル敵機動部隊ハ三日夜  
比島東ノ海域ニ北進續行中ナリト二十九日〇六〇  
五〇六〇天部隊長ハ南西諸島全域ニ對シ警戒  
警戒令セシム

一 部隊ニ對シ警戒ヲ嚴シクシテ退避行動  
ニ遺域ナカラシメントス

三 機閃鏡一七隊ハ對空射撃部隊トシ枝尾東  
南側附近ニ位置シ對空射撃ニ在ラス

四 兩司令各隊速ニ退避準備ヲス  
退避時期ハ別命ス

注意

一 補助官速ニ担任部隊ニテ指導ニ任セシム  
二 〇九〇〇一六〇〇間ハ各隊ニ於テ適宜作業

訓練ヲ實施ス

皇官民令  
同日備  
演習

三 〇六〇〇一七〇〇 計畫ニ基キ軍官民  
合同警備演習ヲ實施ス

四 補助官ハ夫々ノ担任部隊ニテ指導ス  
五 一六〇〇 講評 (大隊長)

六 〇六〇〇一七〇〇 各隊ヲテ實施  
二〇八〇〇 皇軍警報發令 同時退避

二〇八〇〇 今 解除  
二〇九〇〇 對空射撃部隊撤収

聯隊會報

聯隊會報

二十九日

一 十日ヨリ日課時限ヲ九通ニ變更ス  
起床日朝食等

朝 食 〇八〇〇  
診 断 〇九三〇

命令

八 中隊命令 二十九日

一 週審下士官 陸軍位長 佐渡正美  
 令 上等兵 陸軍上等兵 敷下由太郎

九 一九〇。一。二。三。 軍歌演習

一。 沖繩縣國頭司令 歸仁村 謝和  
 將校以下五〇名

士 一〇五。 中野中尉 岩村一等兵 (先發者) 發  
 杜 二〇七。三。一。二。三。 内政查閱 (大隊) 計畫三基  
 日課

中 食 一三〇。  
 會 報 一七三。  
 夕 食 一七三。  
 日夕 食 一七三。  
 請 燈 二〇三。

\*大隊長の長不在、陸中隊長に於て命令せらる。

九首令第  
 九〇號  
 陸軍令

三 一三〇。 外出者 (二〇)

四 一三〇。一。一。一。 對戰車内攻資材整上備  
 取扱法教育 (上等兵) (將校下官)

五 井日命第九。號 井上隊命令 二十日

一 本職 本三十日、右首令、周薪任務、其多  
 陣地偵察、出張ス。

二 陸軍中尉 中野清市  
 令 一等兵 山村 勇

右新陣地、引継管、爲先發命令ス

三 陸軍准尉 吉川定信

明日 謝花地區 巡家將校 (服務ス)

四 別報、通り日直將校 (服務ス)

一 全	神谷中尉	七 木	木村苗長
二 上	今本少尉	八 全	義井少尉

獨逸者令六  
第七號

三日	閉島曹長	九工	吉川進尉
四月	森岡中尉	一日	保田苗日長
五月	原田少尉	二月	川合少尉
六月	田村少尉		

獨逸混成第一五聯隊作命第七號  
獨立混成第五聯隊命令 一九一八年

一、レイテ島ノ戰況ニ皇軍ニ有利ニ進展シマアリ  
軍情勢ニ即應スル態勢ニ移行ス  
二、各隊ノ左記人員ヲ明三十日。七。〇。〇。迄ニ本部  
國民學校ニ差出シ渡邊中尉ノ指揮ニ入リ  
新任地ニ先行シ引斷及設備ニ任セム

九記

將校 第二大隊 中野中尉  
先發者ノ服装個人裝備ヲ完備シ備具露

三、各隊ノ移駐準備ヲ見整スル上ニ再々情勢  
即應ノ訓練ヲ實施ス  
集積彈藥糧秣等ノ現位置アリノ運搬ニ関  
テハ別ニ指示ス

四、現ニ計畫中ノ對戰車肉攻ノ查閲ハ時延期  
シ實施ノ時期ハ別命ス

一九〇。一。二。〇。 軍政演習

宿營地 八、沖繩縣國頭郡今歸仁村謝名  
人員 將校以下四八名(先鋒ニ入院一分遣ニ)



